



一歩前に進む勇氣

朝夕はずいぶんと肌寒くなり、秋が一段と深まる毎日です。生徒の皆さんは、感染症対策の習慣をしつかりと身につけています。そして、運動会を目前にして、学校全体に活気ができてきました。

今回は、「スポーツの秋」にちなんで、山に登るという課題に挑戦したカエルの寓話を紹介します。

一度は山に登ってみたいと思っていたカエルが十匹集まりました。みんなで一緒に登ろうじゃないかということになって、山の麓に集合しました。しかし、見送りに来た仲間たちはみんなヤジを飛ばすばかりでした。「登れっこないだろ！行くだけムダだぜ！やめとけ、やめとけ」そんな言葉を背に受けながら、十匹のカエルは出発しました。ぴよこぴよこ小さな足で跳ねながら、山に登っていきました。

中腹にさしかかったところで、ウサギに会いました。カエルたちが「頂上まで登るんだ」と言うと、ウサギたちはすぐさまこう言いました。「頂上に登る？無理だ、無理だ！この山はものすごく高いんだ。そんな小さい足で登れるわけないよ！」。これを聞いて、すでに疲れ切っていた五匹はあきらめました。

残った五匹には、いつそう険しい上り坂がまっていました。やがて樹海に入ると今度はクマと出会いました。「頂上まで行くななんて、カエルさんたちは無理ですよ。あまりに無謀です。とんでもないですよ！」この言葉を聞いて二匹があきらめました。残った三匹は、なおも進みました。少しずつ、少しずつ、とにかく頂上を目指して進みました。ぴよこん、ぴよこん、ぴよこんと・・・。

今度はヤギたちが現れ、カエルの様子を見て笑いました。「この辺で引き返したほうがいんじゃないのか？その調子じゃ、あとひと月かかったって頂上には着かないだろ」。ここでまた二匹が脱落しました。

とうとう残りは一匹になってしまいました。しかし、この一匹はそれからずいぶんと時間をかけて、ついに頂上へとたどり着いたのでした。

その一匹が山を下りてくるのを待って、仲間たちはいっせいに聞きました。

「一体どうやって登り切ったの？」でもカエルはただ一言「何？」と聞き返しただけでした。そこで仲間たちはもう一度大声で聞きました。「一体どうやって登り切ったの？」。でもカエルはただ一言「何？」と聞き返しただけでした。そこで仲間たちはもう一度大声で聞きました「どうやってこんな快挙を成し遂げることができたんだい？」すると、のカエルはまたしてもこう聞き返しました。「何？何？何？」そのカエルは耳が聞こえなかったのです。

さて、10匹のカエルたちの行動はどう映りましたか？

登り切った1匹は、耳が聞こえないという理由だけで頂上にたどり着いたのでしょうか？

9匹のカエルたちが、途中で脱落したのはなぜでしょう？

この話からの教訓は「勇氣を持って課題に挑もう」ということです。私たち人間は、向こう見ずよりも臆病に近い位置でついつい行動しがちです。よって、向こう見ずに一歩手前くらいが勇氣の位置するところと考えたほうがいいかもしれません。そこで私は「臆病になりすぎるな！」とアドバイスしたいと思います。「ちょっと無謀じゃないかな・・・」くらいがちょうどいい勇氣の位置ではないでしょうか。

また、山に登ることに挑戦した9匹のカエルたちの教訓ですが、他人の無責任な言葉に条件反射して課題に挑戦することをあきらめていけないということです。理由は「お前は無理だ」という他者の言葉に途中でその課題に挑戦することをあきらめたことです。最後にたどりついたカエルは「お前は無理だ」という他者の言葉が聞こえなかったことも一つの理由ですが、時間をかけてでも一歩ずつ前進できたので頂上まで登ることができたと思います。また、最初から山登りを選択せず、「無理だよ。やめとけ」とヤジを連発するようなカエルたちははよくないですね。仲間に対して「がんばってやってみようよ」と励ましてくれる人が良い友達ではないでしょうか。皆さんのクラスはいかがでしょう？

さあ、「秋の運動会」が10月17日・土曜日に開催されます。田柄中らしく校庭に生徒たちの躍動する姿が戻ってきました。お互いに励ましあい、クラスの和をつくりましょう。そして、一歩前に進む勇氣を持って運動会を成功させましょう。



第6 1回運動会

10月17日(土) 午前中のみ開催

プログラム

- 1、 1年100m走
- 2、 2年大縄跳び
- 3、 3年100m走
- 4、 1年大縄跳び
- 5、 2年100m走
- 6、 3年大縄跳び
- 7、 1年全員リレー
- 8、 2年全員リレー
- 9、 3年全員リレー
- 10、 学級対応リレー



(校庭で躍動する大縄跳びの練習)

新型コロナ感染拡大予防のため、応援席は、3年生保護者の1世帯1名に限らせていただきます。ご来賓・地域の皆様にはご遠慮いただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

部活動・生徒活動の記録

(敬称略)

<p>硬式 テニス部 男子</p>	<p>令和2年度 第37東京都中学校テニス選手権大会 男子団体の部 ベスト8 関東大会への出場権を獲得しました。</p> <p>出場メンバー</p> <p>加藤 侑 (1年) 庄司 廉太郎 (2年) 佐藤 祐多 (1年) 沢島 隆太 (2年) 関本 和紀 (2年) キャプテン 中西 郷 (2年) 上野 獅門 (2年) 植村 隆太 (2年) 大野 広翔 (1年) 坂入 望允 (1年) 恩田 健太郎 (1年) 岩崎 光 (1年)</p> <p>硬式テニス部顧問 時松先生 勝ち上がる可能性のあるドローでチャンスは十分にあると思い大会にのぞみました。苦しい戦いもありましたが、それをチームの力で乗り越えて東京都ベスト8に入り、第一シードの相手校にも善戦をしました。これは卒業生の代から引き継がれた力が積み重ねとなり、成果となって表れたものと思います。また、たくさんの練習試合をしていただいた他校のチーム・保護者・選手の皆さんには、心から感謝をいたします。 関東大会は、11月15日(日)東京都の小金井公園運動場で開催される予定です。関東ベスト8を目指して頑張りたいと思います。これからも皆さんの応援をお願いいたします。</p>
<p>練馬区歯 科医師会</p>	<p>令和2年度「歯・口の健康に関するポスターコンクール」 中学校 ポスターの部</p> <p>歯科医師会賞 武田 煌太 (1年)</p>
<p>税の作文</p>	<p>中学生の「税についての」作文 入賞</p> <p>相蘇 結愛 (2年) 名尾 萌花 (2年) 本間 詩乃 (2年)</p>

